

昭和（後半）は遠くなりにけり…



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

今年のGWが破格の10連休であったことにより、昇進してさらに多忙となった我が身には実にありがたかったです。しかし、連休後には休んでいた分の多くの仕事が降りかかってきて、結局同じなのかも、とも思ったものです。今回は令和を迎えたこの機会に、自分が歩んできた時代を振り返ってみました。

つい1ヶ月前前に放映されていた「令和版・白い巨塔」、ふだんあまりTVを見ない当方も録画をして、まとめて観たのですが、すべて観終わった後の感想は、正直ビミョーでした。なぜ、そのように思うのか、それは、自分がそれまでに観た田宮二郎主演の昭和版、唐沢寿明主演の平成版と比較して観ていたからでしょう。そこで確認のために、これら2つの映像作品も観直すことにしたのです（なお、白い巨塔の映像作品は他にもあります）。

昭和、平成、令和版とも、それぞれの時代状況に合わせて設定などをアレンジしており、これはこれとくに違和感はないのですが、昭和版が全31話構成なのに対して、平成版が21話、令和版が5話（1時間ドラマに換算すると9話）と、尺がずいぶん短くなっています。このことは諸般の事情に因るものなのかもしれませんが、原作が盛りだくさん内容を含んでいるため、「寄り道を削る」のもさることながら、「テンポを早める」ことで短縮に対応していると思受けられます（令和版はかなりせかせかしています）。

そして、当方にとってもっとも印象的であったのは、主演を始めとする昭和、平成、令和版のそれぞれの登場人物を演じている役者が、時代を下るに従って、ほぼ例外なく若い、いや、若いのみならず「味が薄い」ことでした。同じような年齢の俳優が演じているのにもかわらず、根本的に顔の作りが違ふ、さらに言えば、「風格」が違ふのです。これは、「個体差」ではなく「時代差」ですので、仮に登場人物を演じる役者の誰かがタイムスリップとかで他の時代の白い巨塔に出演したとしたら、きっと違和感ありありで浮きまくることでしょうね。

当方はこのことに少なからず興味を持ったのですが、一体何が要因なのでしょう。か。「栄養状態が良くなったから」、「世の中が平和になったから」など、生物学的、文化的な複合的要因があるものと推察されますが、客観的に検証できるようなことでもない、相当検索を掛けても、ズバリ解答を導いてくれる書籍はどうもないようでした。ヒットした書籍の中で比較的面白かったのは、岩村暢子「日本人には二種類いる」（新潮新書）、香山リカ「50オトコはなぜ劣化したのか」（小学館新書）などでした。

前者では、昭和35（1960）年生まれの前と後の世代で、生育環境の激変により、日本人の質が「断絶」と言えるほど変化しているとの主張が書かれており、昭和37（1962）年生まれの当方は大変興味深く目通ししました。後者では、昭和35（1960）年頃生まれのオトコたちはそれ以前の世代と比べてずいぶん情けなくなったとの主張がなさ

れており、我が身を振り返って領ける内容が多々あり、かなり凹みました。

さて、昭和版がTV放映されていた昭和53（1978）年、当方は高校1年生でしたが、当時漠然と医学部志望であったため、原作小説をすでに読んでおり、その放映は欠かさず観ておりました（VTRはまだ普及していません）。そして、「クイズタイムショック」の司会で人気を博していたクールガイ俳優の田宮二郎が、エネルギーな財前五郎を演じているのを、実にハマっているなあと感心したものです。その田宮二郎が同年末に猟銃自殺した情報は、スキー合宿からの帰り、上越線の列車内でもたらされたのですが、大変なショックで、その後、年明けに放映された最終回を含む2話については、その鬼気迫る演技に感嘆しながら凝視しておりました。自殺の原因などについてはさまざまな憶測が飛び交い、連日当時のワイドショーを賑わせていたようですが、当方は高校生であった故、「オトナの事情」を理解追求することなどせず、諸事にかまけてやがて忘れ去り、今日に至っております（ついでに医学部にも進学していません）。

今では、その当時の田宮二郎を取り巻く状況について、2018（平成30）年11月に出版された石田伸也「田宮二郎の真相」（青志社）などで窺い知ることができます。これも取り寄せて熟読してみると、田宮二郎は単なる俳優に収まることなく実業家を夢見ていたようで、しかし、手がける事業はことごとく失敗し、大きな負債を抱えていたとか。それがためにうつ病が徐々に高じて、白い巨塔後半の収録時では先行きが危ぶまれるようにまでなっていたとのこと。その一方でスイッチが入った後は役柄に没入し、すばらしい演技をしていたとのこと。そのような状況下でのドラマは撮られていたわけですが、自分であれば、良くも悪くもそうなる前に、早めにどれかを整理してしまっていることでしょう。

それにしても、昭和版の放映からすでに40年が経過しているわけで、当方も今や退職を意図するお年頃です。自分の職業人生は、その大半を平成時代で過ごしたことになりますが、高度成長期やその後が続く低成長を経てバブル景気に突き進んだ昭和（後半）の時代がしみじみと懐かしく感じられます。まさに昭和6（1931）年の時点で明治時代を振り返った、中村草田男の心境でしょうかね（草田男が「降る雪や...」を詠んだのは31歳のときですが）。

これから自分が歩むことになる令和時代、最初期である現時点では、さまざまな分野で相当に厳しい状況（そうなのは、実際には前時代からの「累積」が原因なのですが）が見られますが、平成のような下り坂にならないことを祈るばかりです。もし、当方が昭和35（1960）年生まれより前の世代であるならば、「みんな時代をより良くしていこう!」などと、高らかに宣言するのもかもしれませんが…。

中央会だより 1

令和元年度通常総会を開催

本会は6月13日、高松国際ホテル(高松市)において会員組合等の代表者ら97名並びに来賓多数のご出席のもと、令和元年度通常総会を開催しました。

提出議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 平成30年度事業報告書並びに決算書承認の件(原案通り承認)
- 第2号議案 令和元年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件(原案通り承認)
- 第3号議案 令和元年度会費承認の件(原案通り承認)
- 第4号議案 令和元年度借入金残高最高限度額承認の件(原案通り承認)
- 第5号議案 役員の一部辞任に伴う選任の件(下記のとおり選任)



▲挨拶をする国東会長

役職名	氏名	所属組合名
理事	小竹和夫	香川県建築事業協同組合
//	岩崎康誠	香川県タクシー協同組合
//	橋本庄市	日本手袋工業組合
//	白井正人	香川県家具商工業協同組合
監事	上村芳久	四国鍍金工業組合



▲総会会場

議案審議終了後、国東会長より「国から委託を受け本会が窓口となっております『革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金』は今年で7年目に入り、個別企業の支援に加えて、今年度より複数の事業者による連携での取り組みを支援する『ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金』の四国ブロック地域事務局として、生産性向上実現のための設備投資等の支援を行っております。これらの補助金は、事業者の方々から極めて高い評価を受けており、国におかれましては、是非継続して実施をお願いして参りたいと考えております。

今後とも中小企業連携組織を支援する唯一の専門機関として、様々な施策に積極的な企画提案を行い、迅速かつ円滑な事業遂行によりまして、県内中小企業の振興・発展のために尽力してまいります。」と挨拶しました。

続いて来賓を代表して香川県副知事・西原義一様、香川県議会議長・大山一郎様、四国経済産業局産業部長・山本秀欧様より祝辞を頂きました。会場を移動しての懇親会では、商工組合中央金庫高松支店長・伊藤晋様の乾杯の発声により、和やかな雰囲気のもと会員等の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



▲懇親会の様子

中央会だより 2

働き方改革の推進等に関する協力要請

6月11日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、働き方改革の推進等に関する協力要請がありました。

本県の経済情勢は、個人消費は持ち直しており、設備投資も増加するなど、緩やかに回復が続いています。雇用情勢についても、4月の有効求人倍率は1.83倍、正社員の有効求人倍率も1.25倍と高水準を維持し、雇用情勢は引き続き改善が進んでいます。

一方で、若者が職場に定着できず早期離職している現状や、非正規雇用者が雇用者の約三割を占め、不安定な雇用形態により経済的に自立することが難しい労働者が増加しているなど、様々な課題があります。

また、生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作るための働き方改革への取り組みが喫緊かつ重要な課題となっており、本年4月1日から働き方改革関連法の各改正事項が順次施行されていることから、これらへの早急な対応が必要です。

今回、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し地域経済の持続的発展に向けた雇用対策を推進するため、働き方改革の推進等、以下の協力要請がありました。

つきましては、会員組合等におかれまして、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力をお願いいたします。

- (1) 働き方改革の推進について
- (2) 多様な人材の雇用と活用について
- (3) 若年者の雇用機会の確保及び職場への定着について



▲要請書を受け取る国東会長(右)

中央会だより 3

軽減税率対応・キャッシュレス化 総決起大会へ参加



▲総決起大会で決意表明を行う国東会長

6月19日、『軽減税率・キャッシュレス対応推進フェアin高松』が高松シンボルタワーにて開催されました。

本年10月1日より、消費税10%への引上げに伴う軽減税率制度の導入と、対象店舗でキャッシュレス支払をした方にポイント還元等を実施するキャッシュレス・消費者還元事業が開始されます。本フェアでは、軽減税率制度の理解に不安がある方や複数税率対応レジの導入がまだの方、キャッシュレス決済へのニーズ・関心がありながらも未だ導入に踏み切れていない方に向けて、制度の説明や実際にキャッシュレス決済を体験する様々な催しが行われていました。

また、本フェアの締めくくりとして、『軽減税率対応・キャッシュレス化 総決起大会』が開催されました。大会では磯崎経済産業副大臣を始め、高松商工会議所・泉会頭、香川県商工会連合会・石丸理事、国東会長、香川県商店街振興組合連合会・古川理事長が挨拶及び決意表明を行いました。



▲総決起大会の様子

本会においても、巡回指導の際、関係業種の組合員の方々への周知活動を行っていく予定です。ご不明点等ございましたら、指導員へ気軽にお問い合わせ下さい。

中央会だより 4

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会が通常総会を開催

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会は、6月27日、中央会研修室（高松市）において令和元年度通常総会を開催し、組合関係者ら約30名が出席しました。

平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画・収支予算、会費の賦課額及び徴収方法についての審議が行われ、原案どおり承認可決されました。また、任期満了に伴う役員の変更が行われ、香川県縫製品工業協同組合の楠井芳則理事長が会長に再任されました。

議案審議の後、高松出入国在留管理局の川崎統括審査官をはじめ、香川労働局、四国経済産業局、香川県、香川県警察本部、外国人技能実習機構、(公財)国際研修協力機構等関係機関の担当者の方々より挨拶並びに実習生受入組合



▲総会の様子



▲楠井会長

が留意すべき事項についての説明がありました。

本協議会は組合が実施する「外国人技能実習生共同受入事業」の本来の目的である開発途上国の人材育成協力という視点に立ち、実習生の秩序だった受入れ、技能向上など、本事業の適正な運営を推進することを目的に、実習生受入事業に関する情報交換会・意見交換会、施策普及の為のセミナーや講習会の開催、調査研究等を実施しております。

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会へのお問い合わせは…
香川県中小企業団体中央会総務企画部 連携支援課
TEL.087-851-8311

会員ニュース 1

「うどんの日」におもてなし

本場さぬきうどん協同組合

本年より中小企業基本法の公布・施行日である7月20日が「中小企業の日」、7月の1ヶ月間が「中小企業魅力発信月間」として制定され、期間中は様々な関連イベントが開催されます。

本場さぬきうどん協同組合は、「うどんの日」である7月2日、「中小企業魅力発信月間」の関連イベントとして高松三越前で1,000食のうどんの無料接待を行いました。たくさんの方が「さぬきの夢2009」の新麦を使ったうどんに「さぬきの青ねぎ」、「さぬき蛸」、「徳島県産すだち」をトッピングした冷やしぶっかけうどんに舌鼓を打っていました。

また、お楽しみプレゼントとして「さぬきの青ねぎ」や「徳島県産すだち」、「伊吹いりこ」が合計170名に当たる企画も行われ、食べ終わったお客様は、うどん鉢の裏に当たりシールがないか確認していました。

香川県の農村には、田植えなどの農作業が一段落する夏至から11日目の「半夏生(はんげしょう)」の日に、農家が新麦で作ったうどんを振る舞うという伝統的な風習がありました。本場さぬきうどん協同組合では、「半夏生」が毎年7月2日頃にあたることから、1980年に7月2日を「うどんの日」と決めました。



▲会場の様子



▲来場者の様子

会員ニュース 2

多彩な庵治石の魅力を紹介

讃岐石材加工協同組合

6月8日、9日にサンメッセ香川(高松市)において、讃岐石材加工協同組合主催により「庵治ストーンフェア2019」が「『MISSION IN AJI』～ストーンフェアを体感せよ!～」をテーマに開催されました。

高松市庵治、牟礼地区を中心に石材業者など約120社が参加し、墓石や仏具、彫刻、照明、花器など石を素材にした幅広いジャンルの製品が一堂に並び、また、石材を使った子ども向けのワークショップも賑わっていました。

今回の企画展示コンクール展として、庵治の彫刻家達が掘る、三者三様の表情が現れる「あじのお地藏さん 十人十色」も開催されました。来場者は石ならではの素材感・多彩な表情を堪能しながら、小さな顔の中に込められた職人の技と思いを感じていました。

その他、石に秘められた様々な可能性を斬新なアイデアで表現し、職人の技で創造していく「石のチャレンジ商品コーナー」、一般消費者を対象に毎年高い人気を誇る「庵治石大丁場見学ツアー」など趣向を凝らした催しも実施され、石材業界関係者だけでなく多くの家族連れらが来場し、石の持つ魅力や伝統の技を生かした製品などに見入っていました。



▲企画展示「あじのお地藏さん 十人十色」



▲石匠塾の職人を紹介

会員ニュース 3

木工技能者の技が輝く

香川県アースリウッド協同組合



▲香川県中央会会長賞「戸襖」

香川県アースリウッド協同組合は6月3日から7日まで香川県庁本館1階ギャラリー(高松市)において恒例の香川県建具技能作品展(「さめきたてぐ祭」)を開催しました。

この作品展は、木工技能者の技能向上を図るとともに、県民に建具の「木の温かみ、香り、良さ」、また、技術を披露しPRするために、昭和63年から続けられており、今年で31回目を迎えました。

会場には伝統の技術を駆使し、薄い木の板を組み合わせ、さまざまな模様を描く「組子」を用いた時計やスマホスタンドや食テーブルなど約22点が並び、訪れた人たちは巧みな技術が施された作品に見入っていました。

また、7日には入賞作品の表彰式が行われ、香川県中央会会長賞には(有)林木工・林勇氏の伝統工芸の部「戸襖」が選ばれました。

福家芳弘理事長は「力強い、立派な作品が集まった展示会になりました。令和という新しい時代となり、若い職人を業界及び組合で育てていきたい。これからも多様化している生活様式の変化にあわせて新商品の開発、建具の市場が拡大されれば」と期待を寄せていました。



▲表彰式

夏季の省エネルギーの取組について ～6月から9月は夏季の省エネキャンペーン～

6月から9月までの期間はエネルギー消費が増加する季節です。適切なエネルギー管理等の省エネルギー対策を実践しましょう。



環境キャラクター
「エコくん。」

●特に心がけていただきたい夏季の取組み●

●工場・事業場における省エネ法に基づくエネルギー管理の実施

以下に掲げる取組の推進を含め、省エネ法に基づく適切なエネルギー管理を実施すること。なお、特定事業者においては、平成28年度から開始した「事業者クラス分け評価制度」によるSABCの評価も踏まえた取組を行うこと。

- ・事業者全体としての管理体制の整備、責任者の配置及び省エネ目標に関する取組方針等の策定を通じて、省エネルギーを推進すること。
- ・省エネ法の「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」に基づく設備の管理標準の策定・実施など、適切なエネルギー管理を実施すること。
- ・省エネ法の「工場等における電気の需要の平準化に資する措置に関する事業者の指針」に基づく、電気需要平準化時間帯における電気の使用から燃料又は熱の使用への転換、電気需要平準化時間帯以外の時間帯への電気を消費する機械器具を使用する時間の変更など、電気需要平準化に資する措置を実施すること。

●運輸分野における省エネ法に基づくエネルギー管理の実施

旅客輸送事業者、貨物輸送事業者及び荷主においては、省エネ法の判断基準に基づく取組方針の策定など、適切なエネルギー管理を実施すること。

●公共交通機関の利用促進

通勤及び業務時の移動においては、できる限り鉄道、バス等の公共交通機関を利用すること。また、近距離の移動については、徒歩や自転車での移動を図ること。

●エコドライブの実践

自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめ（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、ムダなアイドリングはしない、タイヤの空気圧を適正に保つ等）を実践すること。

●ISO50001の導入検討

PDCAサイクルによるエネルギー効率の継続的向上等を達成するため、エネルギー管理システム規格（ISO50001）の導入を検討すること。

ISO50001は事業者がエネルギー使用に関して、方針・目的・目標を設定し、計画を立て、手順を決めて管理する活動を体系的に実施できるようにした仕組み（これを規格では‘組織のEnMS’という）を確立する際に必要な要求事項を定め、全ての組織に適用できる世界標準の規格です。

この規格は、組織がエネルギーパフォーマンスを継続的に改善するために必要なシステムとプロセスを確立し、エネルギーの体系的な運用管理によって、温室効果ガスの排出量やエネルギーコストの低減につなげることが意図されています。



●省エネルギーに資する事業活動の合理化及び従業員等の意識向上

従業員等に対し、省エネルギーに関する知識や技能を身につけ、自ら省エネルギーを実践するための研修・シンポジウム等へ参加する機会を提供するよう努めること。

●省エネに関するお役立ち情報サイト

<中小企業の省エネ取組をサポート>

一般社団法人環境共創イニシアチブウェブサイト
 HYPERLINK "http://www.shoene-portal.jp/"

<オフィスでできる節電アクション等について>











環境省ウェブサイト
 HYPERLINK "https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/setsuden/"

<省エネ取り組みに関する事例について>

四国経済産業局ウェブサイト
 HYPERLINK "https://www.shikoku.meti.go.jp/03_sesakudocs/0503_energy/energy_03/index.html"





10連休の反動で主要3指標がともに悪化

2019年5月













製 造 業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●5月～6月は夏需要に向けて乾麺工場は生産が最盛期でフル活動をしている。(製粉製麺) ●日本冷凍食品協会による3月の冷凍食品生産数量は、前対99.3%となり、ほぼ昨年並みの結果となった。1月～3月累計は、前年対比99.6%となり、ほぼ昨年実績に並んだ。4月はGWの影響で出荷量は大きく伸びたが、その反動もあり、5月は厳しい状況が見受けられる。夏に向けて早期の在庫消化と消費回復を期待したい。(冷凍食品) ●組合員の5月の業況は、ゴールデンウィークの10連休前の売上増加の反動で小休止状態と推測される。組合の生揚出荷状況も4月は単独で前年を上回ったが、5月に入り連休後の出荷停滞が起きている。6月、7月のお中元商品需要を期待したい。(醤油)
	繊維・同製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●本年度の秋冬物の受注状況は例年であれば発注を受けている状況である。しかし、5月中旬頃では発注先の様子見での遅れと思われたが、本来受注を受けている5月中頃から下旬にかけても受注状況は非常に悪く様子見とは違った局面である。伴って、海外工場の操業率も大幅に悪化している。スポーツ手袋も含め手袋自体が売れない環境になりつつある。倒産はここ数年発生していないが、販売不振のため、人員整理や縫製技術者不足で廃業を考えている企業もある。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●5月、サンメッセ香川における見本市では来場バイヤーは減少。土日の集客も過去最低ではないかと感じた。組合や業種を越えた香川のブランド、ブランディングが必要である。また、物流費の値上がりは痛手である。(家具) ●製材工場は公共事業が低迷、プレカット工場は新築住宅(木造)の注文住宅が減少、木材市場は荷動きが悪いため、製品価格に転嫁できていない。(製材) ●県外からの参入があり、販売合戦になっている。国産材、県産材の動きが上昇しているが、外材は減少している。外材取扱事業者にとっては厳しい業況である。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●弊組合環境も以前より少しずつ変化し、組合員数の減少が止まらない。紙の消費も少しずつ減少し、印刷会社も同様に少しずつ減少している。設備投資による生産能力のアップを図った事業所が人件費の現状維持、単価アップが可能となり、設備投資ができない事業所が廃業といった状況ではないか。(印刷)
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●生コン協同組合連合会による共販開始後、約1ヶ月経過した。共販打ち出し価格の浸透、積算への早期の反映が課題である。(生コン) ●改元の特需が期待されていたが、多少の注文はあったものの、現実には特別感もなく、期待外れに終わった。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●中国向け(産業用ロボット・建機)は減少、農機、船用は増加、他は横ばいである。(鋳物) ●当組合では理事長の交代があり、新体制で業界発展に尽力する所存である。採用難、原材料高、受注低迷等、英知結束で解決にあたりたい。(鍍金) ●県内物件では概算見積が多く本設計見積もりは少ない。しかし、県内外の商社物件は多いが充分対応できていないのが現状である。また、常態化した工程ずれや高力ボルトの入手難に伴う生産計画の調整・対応、鋼材及び副資材などの価格高騰、現場専門職や輸送業者の手配難など経営負担の要因も増えている。特に高力ボルトの入手難については全国的な問題として企業間格差はあるものの非常に厳しい状況が続いており、国内年間鉄骨総需要を考えるとボルトメーカーも増産はしないと思われる。そのような中、我々全国団体(全構協)としても問題解決に向け取り組んでいるが、現状では依然として改善されていない。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●安定操業で推移。仕事量は減少傾向になる見込み。(造船)
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポリウチワの大口受注は、案件が減っている。(団扇) ●5月の「香川の家具とゆりもの新作見本市」並びにその後の「家具フェア」は、大手組合員企業が出展をとりやめるなど、例年よりさびしい開催となったが、来場者は例年並み、フェアの一般客もますますの来場があった。かがわ物産館「栗林庵」の工芸品売上は10連休と外国人観光客の増加で過去最高となった模様。(漆器) ●5月の業況は大型連休の影響が、寝具類の販売が前年同月と比べて悪化している。連休で売上もないので工場もカレンダー通りに休んでいる所が多く、収益が落ちた。6月から自衛隊の布団資材が入ってくるそうなので売上増加を期待している。約4千枚弱の布団の予定。(綿寝具) 	
非 製 造 業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●大型連休後、価格の大きな変動もなく、推移した。ただ、気象面ではこれからの供給が少し不安になる。(青果物) ●販売価格上昇による小売価格への未転嫁がある。また、軽油については香川県が全国一安いという統計もあり、厳しい経営が続いている。県外大手安売業者が香川県に4月より進出しているが、新たに香川県内で2店舗増設予定という情報もあり、小売価格の上昇(転嫁)は難しい状況である。(石油) ●5月に入り、高気温が続く、エアコンが動きだした。テレビ等その他の商品も動きが目立つ状況になった。消費増税前の駆け込み需要が堅調にできた感ありといった状況。早急に計画を立て直し、対処しないと出遅れる。6月～7月がビッグチャンスと考えられる。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●G.W.は10日間とも途切れることなく連日多くのお客様が商店街はにぎわった。特に飲食店はナショナルチェーンを除き、地元店が大繁盛であったことは喜ばしい。ただ、観光に関わる業種やレジャー、旅行、エンタメ関連の商品は好調であったものの、物販全般にわたってはそれほどもなく、むしろ、連休明けは消費疲れから起こる買い控えの傾向が強く見られ、月間では厳しい店舗も多くあった。この先は消費増税の行方にも多くの人に関心を寄せており、増税確定ならば、7月からは単価の高い商品から駆け込み需要が始まり、9月末までは家電品、ブランド雑貨、アパレル、宝飾貴金属、絵画、呉服、インテリア等は大きく数字を伸ばすことになるだろう。また、現在も高級アパレル、雑貨は引き続き好調であり、全体の底上げを図っている。日経平均株価の行方が富裕層の消費を左右しており、回復が望まれる。(高松市) ●初の10連休後半、サンポートは瀬戸内国際芸術祭の人出でにぎわっていた。市内商店街は他の商店街に集中、当商店街は平日より静かであった。5月6日に理容組合とコラボした6回目のイベントが行われたが、人出も年々減少しているように思われる。22日より近隣の百貨店にて全国の物産展があり、人通りも少し増えたように感じたが、個々の商店は売上が上がりず厳しい状況である。近隣商店街には大手のドラッグストアが近々オープンするらしく、また、大型店が進出してくることになる。(高松市)

5月の県内景況は、前年同月と比べて業界の売上高DI値は-29.2ポイントで前月調査の-16.7ポイントから12.5ポイントの悪化となった。収益DI値は-31.3ポイントで前月調査の-18.8ポイントから12.5ポイントの悪化となった。景況DI値は-31.3ポイントで前月調査の-22.9ポイントから8.4ポイントの悪化となった。

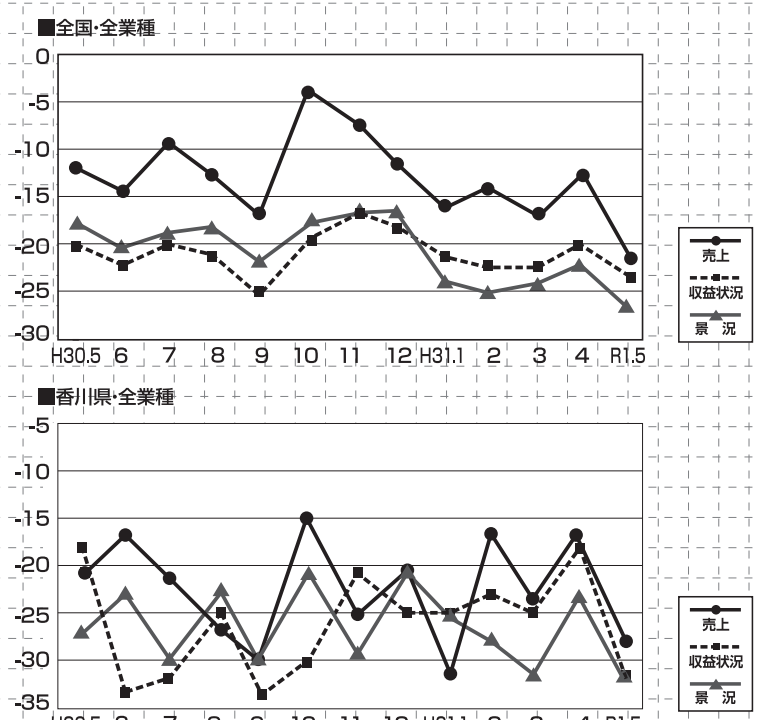
幅広い業種で10連休の反動もあり、一般的に景況感が悪化した。消費増税への対応を懸念する声もあり、中小企業の先行きは引き続き注視していく必要がある。

非製造業	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●消費増税に対するレジの交換対応ができていない。7月に講習を開催するのだけが対応が必要なのか。(坂出市) ●元号が変わり、大型店などは「売る仕掛け」をつくり「改元特需」があったようだが、個人商店はそこまでの顧客を引きつける品揃え・サービス提供のチカラはないと思った。空き店舗に対する問い合わせはポチポチあるが、飲食・サービス業からのもので、物販は厳しい現状を改めて感じた。(丸亀市) ●宅配ドライバーより通販の取扱いが急激に増加し、車輛やドライバーが足りないほど継続して増加しているという話を聞いた。実店舗の苦戦を証明する現況である。(観音寺市)
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●各業者も受注が減っており、新規顧客獲得など努力を行っている状況。(ディスプレイ) ●昨年はサポート等の工事が多く、好況であったが、今年はゴールデンウィークの後、非常に動きが少なく、稼働は大きく落ち込んでいる。非常に悪い状況である。(旅館) ●組合員の年齢層が高くなっていることもあり、組合として動きが鈍化している。若い企業(ベンチャー)を組合員として入会を促していく必要がある。(情報)
	建設業 	<ul style="list-style-type: none"> ●4~5月の生コンクリートをはじめとした建設資材関係の動きが例年と比べ低調。本年度予算は国、県、市とも若干ながら昨年度予算より増となっているが、公共工事発注が例年に比べ遅れているように思われる。通年を通しての発注の平準化が望まれる。(総合建設) ●大型連休のため、営業日数が少なかった。(板金工事)
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地方の景気は一部明るさが見られるものの、県内のタクシー業界は低迷しており、営業収入、輸送人員ともに減少し続けており、非常に厳しい経営状況が続いている。また、乗務員不足が深刻化しており、車両があっても動かせない状況が続いている。輸送需要が集中する午前中か夕方の時間帯など配車依頼に十分に対応できていない状況にある。(タクシー) ●平成31年4月分高速道路通行料利用額の対前年同月比は、3.9%増となり、対前月比では△2.4%減となった。また、4月分利用車両数の対前年同月比は、3.0%増となった。(運輸業) ●公益社団法人全日本トラック協会が発表した平成31年1月~3月期のトラック運送業の景況感は、営業利益の水準は回復傾向となった(宅配以外貨物を除く)ものの、景気減速を反映し輸送数量が減少したことが影響し、輸送効率が低下、その結果、景況感の判断指標は▲18.1となり、前回(▲4.8)から13.3ポイント悪化した。なお、今後の見通しは、景気減速による輸送数量の減少、コスト面では人件費上昇、燃料コスト負担増等が影響し、経常利益を押し下げる見込みから、▲32.6(今回▲18.1)と14.5ポイント悪化する見込みである。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品			
	繊維・同製品			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	輸送用機器			
	その他			
非製造業	卸売業			
	小売業			
	商店街			
	サービス業			
	建設業			
	運輸業			
	その他			

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chukai-kagawa.or.jp/>

FROM青年部

令和元年度通常総会を開催

6月25日、本会青年部はマリンパレスさめき(高松市)において会員47名と来賓多数ご出席のもと、令和元年度通常総会を開催しました。

十河孝浩青年部会長より「次代を担う若手後継者の異業種組織という特徴を活かし、会員同士の連携を深め、地域経済の発展に寄与する事業を行ってきたい」との挨拶のあと、議案の審議が行われ、平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画、収支予算など全議案が満場一致で承認されました。

続いて、ご臨席を頂いた来賓の皆様を代表して、香川県知事・浜田恵造様、香川県議会議長・大山一郎様、四国経済産業局産業部長・山本秀欧様よりご祝辞を賜りました。

総会終了後の懇親会では、新入会員の紹介も行われ、和やかな雰囲気のもと、情報交換とともに会員相互の親睦を深め、盛会のうちに終了しました。



▲総会の様子



▲浜田香川県知事



▲十河会長

FROM青年部

全国中小企業青年中央会通常総会(於 和歌山県)へ出席

6月21日、ダイワロイネットホテル和歌山(和歌山県和歌山市)において全国中小企業青年中央会(UBA)令和元年度通常総会が開催され、全国から約260名が出席、本会からは十河会長、清田副会長、事務局の3名が出席しました。

総会では平成30年度事業報告、決算報告並びに令和元年度事業計画、収支予算など3つの議案についての審議が行われ、全議案が満場一致で承認されました。

総会後には、各県の会長らによるUBAサミットが開催され、ビジネス連携、ビジネスマッチングについてのグループ討議が行われ、活発な議論が交わされました。

その後の懇親会では、和歌山県中小企業青年中央会主催により、趣向を凝らした催しがありました。特にマグロの解体ショーでは、会場が一体となり大変な盛り上がりを見せていました。終盤には来年度通常総会岡山県開催のPRが行われ、盛会のうちに終了となりました。



▲総会の様子



▲UBAサミット(中央十河会長)



▲懇親会でのマグロ解体ショー

本会青年部は、業種や団体の枠を超えた交流・連携に取り組み、中小企業並びに組合等の振興に寄与することを目的として各種事業活動を行っています。
組合青年部の組成や他組合青年部との交流会開催希望等ありましたらご相談ください。

香川県中小企業団体中央会
事業振興部 / TEL.087-851-8311

商工中金だより

総合金融サービスのご案内

経営ニーズへの対応

M & A	企業の紹介・企業価値の算定から諸条件の調整・最終履行までお手伝いいたします。
事業承継対策	事業を承継される個人・法人の方に対し、株式取得資金をはじめとするあらゆる資金ニーズに対応いたします。また、専門家と連携した自社株対策や、オーナーが後継者に自社株を売却した際の資金運用手段のアドバイス、後継者がいない場合のM&Aのサポートも行います。
ビジネスマッチング	商工中金の全国ネットワークを使って、仕入先・販売先、技術・業務提携先など法人のお客さまの本業支援につながる取組として、ビジネスパートナーをご紹介します。
株式公開支援	資本政策のご提案、内部体制整備のご相談、証券会社・監査法人のご紹介などお客さまの立場に立ちアドバイスいたします。
不動産有効活用	フランチャイザーや不動産専門業者のご紹介など遊休地の活用をサポートいたします。
コンサルティングなど	上記のほか、株式会社商工中金経済研究所により専門的な経営相談業務や組織の見直し・人事労務関連など、経営コンサルティング業務を行うとともに、各種セミナーなども実施しています。

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫
高松支店
 〒760-0052
 高松市瓦町 1-3-8
 TEL.087-821-6145
 FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

融資制度のご案内

下記掲載は融資制度の一部ですので、詳しくは各事業までお気軽にお問い合わせください。

○新事業活動促進資金（経営力向上計画関連）の概要（国民）

融資対象者	中小企業等経営強化法第13条に基づき経営力向上計画の認定を受けた方
資金使途	経営力向上計画を行うために必要とする設備資金および運転資金
融資限度額	7,200万円（うち運転資金は4,800万円）
ご返済期間 （うち据置期間）	設備資金 20年以内（2年以内） 運転資金 7年以内（2年以内）

○新事業活動促進資金（経営強化関連）の概要（中小）

融資対象者	中小企業等経営強化法に基づき、経営力向上計画の認定（変更承認を含む）を受けた方
資金使途	経営力向上計画を行うために必要な設備資金および長期運転資金
融資限度額	7億2,000万円（うち運転資金は2億5,000万円）
ご返済期間 （うち据置期間）	設備資金 20年以内（2年以内） 運転資金 7年以内（2年以内）

○HACCP資金（食品産業品質管理高度化促進資金）の概要（農林）

融資対象者	食品の製造または加工の事業を行う中小企業者（協同組合等を含む）
資金使途	HACCP 導入やその前段階の衛生・品質管理のために必要な設備資金 上記に併せて支出される、施設の円滑な立上げに必要な、システム開発費等の費用（特別の費用等） （指定認定機関の認定を受けた高度化計画又は高度化基盤整備計画に基づく事業）
融資限度額	事業費の80%以内又は20億円のいずれか低い額
ご返済期間 （うち据置期間）	10年超15年以内（3年以内）

※利率等については、下記URLを参照して下さい。

〈支店窓口〉

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店（URL：<http://www.jfc.go.jp>）

〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業（2階） Tel.087-851-0198 Fax.087-822-9274
 中小企業事業（3階） Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
 農林水産事業（3階） Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

中小企業大学校研修の御案内

1. 新規顧客開拓の進め方

- 日 時 令和元年8月6日(火)～8月8日(木)/3日間
- 会 場 中小企業大学校関西校(兵庫県神崎郡福崎町高岡)
- 内 容
 - ・新規顧客開拓の本質
 - ・新規顧客開拓の効果的なプロセス
 - ・新規顧客開拓の効果的なプロセス
 - ・自社の新規顧客開拓計画(演習)
- 対 象 管理者、新任管理者
- 受 講 料 31,000円(税込)
- 定 員 30名
- 研修のねらい 人口減少、海外との競争熾烈化などの環境変化の中、既存取引先からの受注増を目指すだけでは事業の発展を望むことが困難となっており、新規顧客開拓の重要性が高まっています。
本研修では、これまで見ていなかった顧客へのアプローチや、商品の新たな用途を見出すことで新規取引に繋げる方法を理解するとともに、自社に合った実効性の高い新規顧客開拓への取り組み方を検討します。
- 講 師 株式会社流通プランニング研究所 代表取締役/川上 正人
- 詳細情報 <http://www.smrj.go.jp/institute/kansai/training/sme/2019/fr94k0000067ras.html>

2. 経営幹部の判断力強化講座(大阪会場)

- 日 時 令和元年8月6日(火)～8月8日(木)/3日間
- 会 場 中小企業大学校関西校(兵庫県神崎郡福崎町高岡)
- 内 容
 - ・企業成長と 経営幹部の役割(ガイダンス)
 - ・グループ討議と発表
- 対 象 経営幹部、管理者
- 受 講 料 31,000円(税込)
- 定 員 30名
- 研修のねらい 経営幹部には経営戦略を立案し、社内外の調整を図りながら、実行に移す力が求められています。
この研修は、現場で経営幹部が直面する様々な場面について、どのような判断材料を収集し、判断を下すべきかを自ら考えていくことにより、経営幹部に求められる役割、必要な思考・視座、知識を実践的に学ぶことを目的としています。
- 講 師 株式会社ケースメソッド教育研究所 代表取締役/竹内 伸一
金沢工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授 博士/村上 敏也
株式会社電通 電通ビジネスデザインスクエア HRMディレクター/南 太郎
- 詳細情報 <http://www.smrj.go.jp/institute/kansai/training/sme/2019/fr94k0000069i8r.html>
- お問い合わせ先 中小企業基盤整備機構近畿本部 中小企業大学校関西校
兵庫県神崎郡福崎町高岡 TEL.0790-22-5931

※(公財)かがわ産業支援財団では、中小企業大学校研修を受講される方に対して、受講料と旅費を助成するお得な制度があります!!
(公財)かがわ産業支援財団(087-868-9903)まで、是非、お問い合わせください。

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	ノーサイド・ゲーム	池井戸潤	ダイヤモンド社/1,728円
2	公式ガイド&レシピ きのう何食べた? ~シロさんの簡単レシピ~	講談社	講談社/1,512円
3	キレル!	中野信子	小学館/842円
4	一切なりゆき ~樹木希林のこぼれ~	樹木希林	文藝春秋/864円
5	実行力 結果を出す「仕組み」の作り方	橋本徹	PHP研究所/972円

香川県書店商業組合調べ

ご活用ください。 産業雇用安定センター

（当センターは、厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益法人で、「失業なき労働移動」実現にむけて、全国ネットで出向・移籍等の支援業務を行っています。）

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

- 人材の受入（途中採用）や人材の送出（雇用調整による再就職支援など）をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

●お問い合わせは



公益財団法人 産業雇用安定センター 香川事務所

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20（高松センタービル8階）

TEL.087-851-1011

ご利用時間

9:00~17:00
（土・日・祝日は除く）

FAX.087-851-1014

